

令和 6 年度(2024 年度)「中学校給食に関するアンケート」調査結果(概要版)

【実施目的】

令和 4 年度(2022 年度)2 学期より市立中学校で、全員給食を開始したことから、今後の事業展開や献立作成の参考とするため、生徒・保護者・教職員の意見をアンケートにより調査するもの。

【対象者】

豊中市立中学校に在籍する生徒、保護者、教職員

【調査時期】

令和 6 年(2024 年)10 月

【調査方法】

オンラインによるアンケートを実施

保護者には、コドモンで周知及び依頼。

【対象者数と回答率】

	生徒	保護者	教職員
対象者数	9,912 人	※4,924 人	750 人
回答者数	7,091 人	3,121 人	307 人
回答率	71.5%	63.3%	40.9%

※保護者対象者数は、コドモンで案内を送付し、既読になった人数を記載

【概要】

○満足度

		生徒	保護者	教職員
全員給食になって良かった	R4	22%	74%	34%
	R5	27%	83%	49%
	R6	33%	87%	50%
給食が好き(生徒自身)	R4	26%	27%	13%
	R5	29%	34%	17%
	R6	34%	37%	23%

毎年全ての対象において、満足度が向上しており、全員給食が浸透してきたことがわかる。しかしながら生徒の満足度は、未だ低いままであるため、継続して改善を行う必要がある。

○苦手・残している理由

		生徒	保護者	教職員
冷めている(冷たい)	R4	18.5%	23.5%	20.5%
	R5	17.5%	22%	21%
	R6	18.9%	24.5%	19.4%
味付けが好みではない	R4	18.5%	28%	22%
	R5	19.5%	30.5%	20%
	R6	20.3%	29.9%	24.9%
苦手なものが入っている	R4	16.5%	13.5%	21%
	R5	19%	16%	20.5%
	R6	18.1%	15.7%	21.6%

※数値は、苦手・残している理由の平均値を記載。

回答上位の「冷めている(冷たい)」「味付けが好みではない」「苦手なものが入っている」の3つは、毎年大きな変化はない。

○量について

		生徒	保護者	教職員
多い	R4	35%	19%	32%
	R5	37.3%	17%	-
	R6	31.1%	15.6%	-
ちょうどいい	R4	48%	48%	33%
	R5	48.7%	57.5%	-
	R6	49.8%	58.9%	-
少ない	R4	17%	24%	35%
	R5	14%	25.5%	-
	R6	19.1%	25.6%	-

※R5年度以降は、教職員に量についての調査は行わず。数値は、ご飯、副食などの平均値を記載
生徒・保護者の約50%が、「ちょうどいい量である」と回答している。

「多い」という意見は減少しているが、生徒の「少ない」という意見が増加している。それぞれ一定数の回答があることから、量の調節について課題があることがわかる。

+

○今後の給食に対する希望

		生徒	保護者	教職員
現在と同じ給食	R4	43%	30%	39%
	R5	41%	32%	43%
	R6	48%	35%	48%
小学校と同じ給食	R4	38%	56%	31%
	R5	40%	58%	35%
	R6	37%	58%	36%
その他	R4	19%	14%	30%
	R5	19%	10%	22%
	R6	15%	7%	16%
パンの提供希望	R4のみ	79%	調査なし	72%
ご飯のみが良い	R4のみ	21%	調査なし	28%

※R5以降は、パンの提供を開始したため、パン提供についての調査は行わず。

「現在と同じ給食」が増加傾向にある。また、「小学校と同じ給食」は特に変化がない。それぞれの生徒、保護者、教職員を合計すると、同数となっている。

【まとめ】

給食への満足度は徐々に高くなってきているが、苦手・残している理由については、開始当初から変化がなく、献立の改善や、食育の必要性を感じる。

量について、「ちょうどいい」と答えている生徒以外は、「多い」「少ない」それぞれの意見にわかれており、量の調節についての課題がある。

上記の課題、「冷めている」や、「量の調節」などの問題の解決のため、全てのおかずを食缶で提供する方向で進めていく。

今後も、定期的にアンケートを実施し、結果を参考に献立の改善や、食育を進め、満足度の高いものにしていく必要がある。